

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	樋門管理事業			
予算科目	8 款 3 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課:	土木管理課	電話番号(内線):	593
記入者情報	所属長:	木曾 信之	担当責任者:	一方井 浩介
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	海岸に面した地域で生活を行なっている住民等			
根拠法令等				
事業の目的	災害から住民の生命・財産等を守り安全な市民生活の確立。			
事業の内容	県及び市が所有する樋門の通常時の維持管理と豪雨や高潮に伴う非常時の操作等により浸水被害を防除する。また、地元区長と委託契約を結び通常時及び非常時の樋門操作等を行なっている。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	樋門水門管理者と連携して、梅雨前線豪雨、台風時には適正な管理を行えるよう常時の点検、報告を実施するよう心掛ける。			
改善策の 具体的 取り組み	常時における設備点検を定期的実施し、課内での設備状況の報告を密にすることで担当部署全体で設備状況が把握できるよう徹底する。			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	1,009	942	0	942
	人件費	1,627	795	0	795
	合計	0	1,737	0	1,737
人件費 内訳	人工数	0.20	0.10	0.00	0.10
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,627	795	0	795
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,636	1,737	0	1,737

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
通常時点検回数	回	24	24	12	24

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	1,200	1,200	0	0	0	2,400

成果指標				
成果指標	点検回数÷12ヶ月			
指標設定の考え方	平常時点検回数を多くすることでより安全な管理が出来る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目標	2.0回/月	2.0回/月	2.0回/月	0
実績	2.0回/月	2.0回/月	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	樋門設備は洪水や高潮時に堤内地への氾濫浸水防止を図るとともに常時においては取水排水のために堤内地と河川とをつなぐ施設として設置され、万一その機能が失われた場合には堤内地の社会経済に及ぼす影響が大きい設備である。常時待機状態であり施設の設置される環境も厳しい一方、出水時には確実に機能しなければいけないことから、日常の適切な維持管理が重要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	水門、樋門の維持管理は地元区長と管理委託契約を締結し、ゲートの開閉操作を行い、波浪高潮時、大雨時の安全確保をしている。水門、樋門6ヶ所に監視カメラ等を設置し潮位、河川水位等がモニターできて設備を配置して下水処理場か宿直室でゲート開閉ができるような設備投資が将来には必要になるかも知れない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題